



坂口谷川を華やかに彩る彼岸花とかかし

### 心和むあたたかな風景が坂口谷川に

#### ■第3回坂口谷川彼岸花とかかし祭り

花と芝生を守る会が主催する「坂口川彼岸花とかかし祭り」が9月19日から23日まで、細江区の坂口谷川で開催されました。

見頃を迎えた赤、白、黄の色鮮やかな彼岸花と、41体のアニメキャラクターや芸能人などをかたどったかかしが、川岸を華やかに彩りました。

訪れた人たちは「黄色の彼岸花もあるんだ」、「かかし上手にできているね」などと笑顔で話しながら、管理された芝生の河川敷で楽しんでいました。

### 地域にあるものを探し磨いて宝に

#### ■地元さがし「これ何？」勝間田

NPO法人勝間田塾と若者たちが「つながり」をテーマに地域で活動する団体「静岡2.0」による勉強会「地元さがし「これ何？」勝間田」が9月11日から13日まで、勝間田区で開催されました。

勉強会では、地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏による「地域にあるものを探し新しく組み合わせ、地域をより元気にしていく地元学」の講義や勝間田区内を実際に歩く現地調査を行いました。

参加者は「身近な生活の中に知らないことがあり、良い発見ができた」と話してくれました。



地元の人から話しを聞くなどの現地調査を行う参加者

### 住み慣れた地域で自分らしく暮らす

#### ■講演会「住民の力で地域医療を支えよう」

9月27日、山岡泰治浜松医科大学特任教授、垣神明棟原総合病院心臓病センター長、高木平棟原医師会会長を講師に招き、「住民の力で地域医療を支えよう」をテーマにした講演会が、地域医療を支えるはいなんの会により、さざんかで開催されました。

一人一人がかかりつけ医を持ち、適切な受診を心掛けることの重要性や地域包括ケアシステムなどの医療介護連携の仕組みづくりについて、約150人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



講演をする高木平棟原医師会会長

### ニュースポーツの魅力を発見

#### ■牧之原市ニュースポーツフェスティバル

まきのはら総合スポーツクラブ主催の「牧之原市ニュースポーツフェスティバル」が9月27日、相良B&G海洋センターで開催されました。

多くのおみなさんに運動することの素晴らしさを知ってもらい、自分に合ったスポーツを見つけてもらおうと企画されました。

会場では、スポーツ吹き矢やビーチボール、ミニトランポリン、ノルディックウォーキングなどのニュースポーツが用意され、参加者は仲間と一緒にスポーツを楽しみました。



ビーチボールを楽しむ参加者



4人1組で御船を担ぐ船若たち

### 伝統を引き継ぐ

#### ■大江八幡宮の御船神事

国の重要無形民俗文化財に指定されている「大江八幡宮の御船神事」が9月20日、大江区で営まれました。

この神事は、江戸時代の相良湊の回船業者が、海上安全や商売繁盛を祈願したのが起源とされています。

長さ2メートルほどの菱垣廻船と樽廻船の模型船である「御船」を操り、御神輿の先供をする行事です。

浴衣姿の「船若」と呼ばれる青年が住起こし、帆揚げの後、威勢の良い古雅な練り歌に合わせて「御船」を荒々しく担ぐと、沿道の観客からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

### 伝承活動へつなげよう

#### ■伝承したいものとことの祭典

伝承したいものとことの祭典が9月6日、い〜らで行われました。

祭典は、地域の民俗芸能や学校の教育活動などを知ることで、伝承することの意味や意義を再確認し、それぞれの地域や学校での伝承活動へつなげてほしいと、伝承したいものとことの祭典実行委員会が企画したものです。

飯津佐和乃神社の御船神事や牧之原小学校のソーランなど、12団体の演目が披露されると、会場からは大きな拍手が鳴り響きました。



棟原太鼓による力強い太鼓の演奏



ブラバンでキーホルダーなどをつくり楽しむ子どもたち

### 私の力作完成

#### ■第41回中央公民館まつり

9月6日、第41回中央公民館まつりが相良公民館で開催されました。

市内の各地域から出展された絵画や工芸、写真、書道、盆栽など411作品が展示されたほか、舞台発表や販売コーナー、クラフトづくり、大抽選会、もち投げなどが行われました。

お楽しみコーナーでは、大人気のおばけ屋敷「妖怪ハウス」や子ども縁日、アニメ映画の上映会などが行われ、訪れた多くの家族連れでにぎわいました。

ズームイン！  
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052-2330052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp